

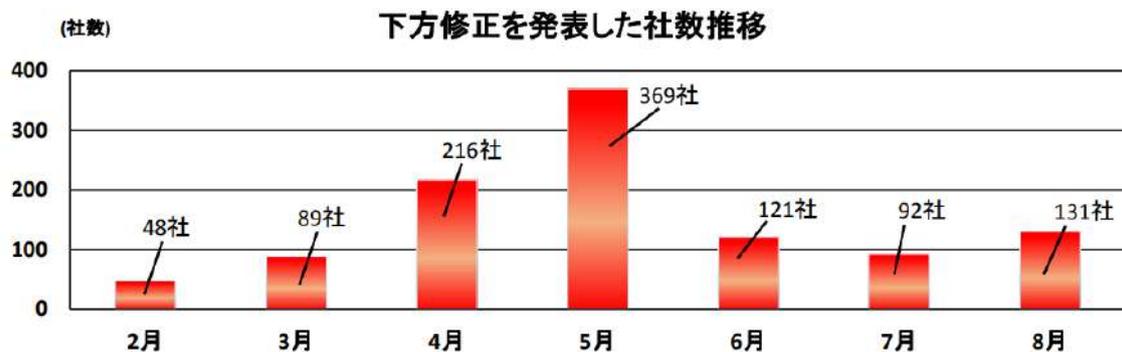
「業績予想下方修正した上場企業 1,066 社 帝国データバンクの調査で増加続く」

新型コロナウイルスの影響で業績予想を下方修正した上場企業が8月だけで131社増え、1,066社と1,000社を超えたことが、信用調査会社「帝国データバンク」の調査で明らかになった。感染拡大は収まらず国内経済に大きなダメージを与え続けている、と同社はみている。

同社が3日に公表した「新型コロナウイルスの影響による上場企業の業績修正動向調査」によると、1,066社が下方修正をした結果、減少した売上高の合計は、約9兆6,264億8,400万円。前回調査の7月末時点から約2兆3,093億600万円増えた。修正額が最も大きかった業種は製造業で、全下方修正額の51.8%を占める。

下方修正した企業の数業種別でみると、最も多い製造業が7月末から42社増え340社。続いてサービス業213社（7月末から32社増）、卸売業138社（同19社増）、小売業103社（同3社増）の順となっている。

帝国データバンクは、新型コロナウイルス感染拡大による全国の関連倒産が500件に迫っているという数字も示し、「感染収束のメドがたたない中で、事業停止や休廃業の選択を迫られるケースが増えることも予想される」としている。



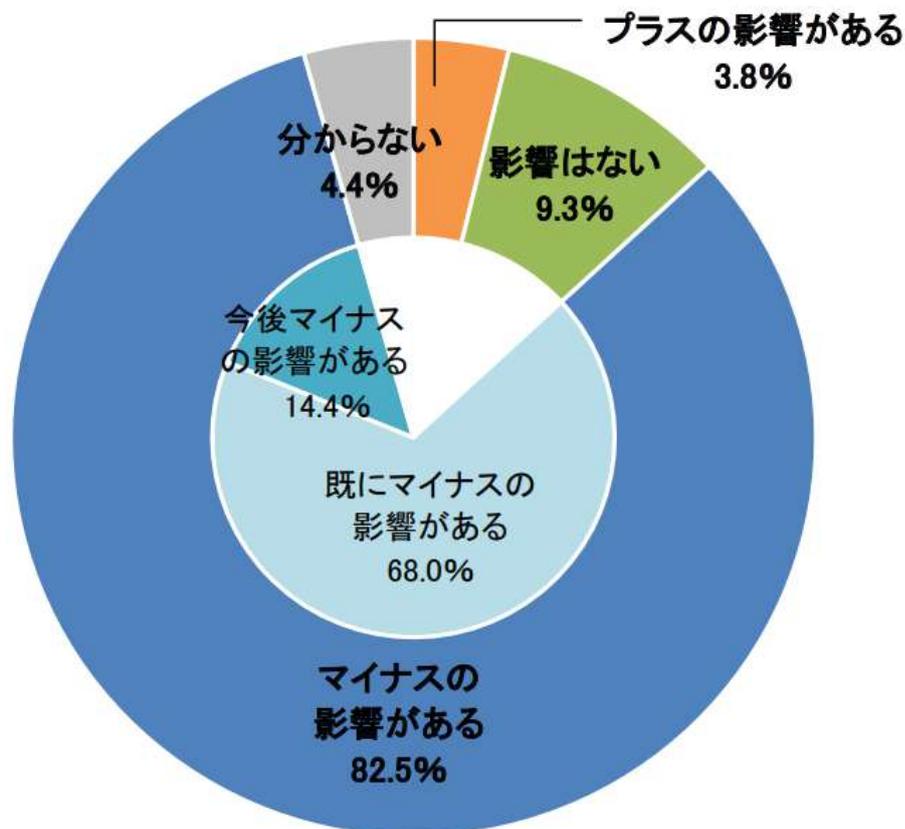
業種別

業種	社数								修正額合計 (百万円)	構成比 (%)
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	累計		
製造業	27	26	59	125	28	33	42	340	4,982,827	51.8
サービス業	4	25	44	65	26	17	32	213	367,425	3.8
その他 (持株会社含む)	3	12	40	79	25	12	23	194	2,787,077	29.0
卸売業	10	11	28	39	18	13	19	138	583,286	6.1
小売業	3	8	29	42	12	6	3	103	421,287	4.4
運輸・通信業	1	4	12	9	0	3	0	29	275,921	2.9
不動産業	0	3	3	8	7	5	8	34	142,959	1.5
建設業	0	0	1	2	5	3	4	15	65,702	0.7
合計	48	89	216	369	121	92	131	1066	9,626,484	100.0

(帝国データバンク「新型コロナウイルスの影響による上場企業の業績修正動向調査(2020年8月31日時点)」から)

同社は1日に、新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識を調査した結果も公表している。全国2万3,689社を対象に8月18日～31日に実施し、1万2,000社から回答を得た。「既にマイナスの影響がある」68.0%、「今後マイナスの影響がある」14.4%を合わせ、「マイナスの影響がある」と見込んでいる企業が82.5%に上るという調査結果を明らかにしている。1月前に実施した同じ調査結果は82.7%だったので、「マイナスの影響がある」と見込んでいる企業が0.2ポイントだけ減っていることを示す。

新型コロナウイルス感染症による業績への影響



(帝国データバンク「<速報>新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査(2020年8月)」から)

日文 小岩井忠道 (JST 客観日本編集部)

関連サイト

帝国データバンク「新型コロナウイルスの影響による上場企業の業績修正動向調査(2020年8月31日時点)」

<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/pdf/p200902.pdf>

帝国データバンク「<速報>新型コロナウイルス感染症に対する企業の意識調査(2020年8月)」

<https://www.tdb.co.jp/report/watching/press/p200901.html>